

科目名		授業形態	担当教員名	
運動学演習 I		演習・講義	岡田 誠暁	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
この授業では解剖学や運動学で学んだ知識を使いながら(必要に応じて知識の補強を図りながら)、実際の動作について学ぶ。学生は自分の身体で確認しながら運動や動作を行うことで、必要な筋や関節の動きに対する理解を深める。				
授業の到達目標				
1. 各関節の動きを運動学的用語(屈曲、回外など)で他者に説明することができる。 2. 観察した簡単な動作について正しい用語で説明することができる。 3. 基本的な姿勢分析を行うことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	関節の構造と関節運動①			
2	関節の構造と関節運動②			
3	筋の構造と働きと収縮様式			
4	上肢帯と上肢の運動①			
5	上肢帯と上肢の運動②			
6	上肢帯と上肢の運動③			
7	上肢帯と上肢の運動④			
8	下肢帯と下肢の運動①			
9	下肢帯と下肢の運動②			
10	下肢帯と下肢の運動③			
11	体幹の運動			
12	姿勢・重心・力のモーメント①			
13	姿勢・重心・力のモーメント②			
14	歩行について			
15	基本動作の成り立ち			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%	教科書及び授業で配ったプリントの内容を問うテストを行うことで評価する		
レポート・課題				
小テスト	20%	定期的に授業の内容を問う小テストを行うことで評価する		
平常点				
その他	10%	授業への参加態度や出席状況で評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
基礎運動学 第6版補訂	中村隆一・齋藤宏・長崎浩	医歯薬出版		
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学	野村嶺 編	株式会社 医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
PT・OT 基礎から学ぶ 運動学ノート 第2版	中島雅美・中島喜代彦 編	医歯薬出版		
自由記載				
備考				
覚える範囲が多いので授業終了後に知識の整理をすることをお勧めします。複雑な関節運動の理解が難しい場合は適宜、骨標本で実際の運動を再現する等し、理解できるよう努めて下さい。				